

# 絆

赤井むつみ後援会便り第14号

2012年5月 発行

笑顔あふれる温かい町に！



## 2012年度の予算決定！

もうすでに、町広報などでご存知だと思いますが、3月の定例会では、予算特別委員会が設置され、H24年度予算について、審議し、本会議で可決（決定）いたしました。

その結果、一般会計予算額は、112億8,100万円、7特別会計及び2企業会計を含めた、八雲町の予算総額は、243億6,989万円で、前年度対比、3億7,260万円、1.5%の減となりました。

今回は、近隣の町（23年度当初予算）と比べてみます。

八雲町～人口18,811人	243億6,989万円（24年度）
森町～人口18,174人	160億9,935万円
七飯町～人口28,883人	161億8,700万円
長万部町～人口6,352人	70億3,465万円
白老町～人口19,441人	177億8,275万円
当別町～人口18,483人	136億6,706万円
倶知安町～人口15,343人	83億1,411万円

このように比べてみると、八雲町の予算額が圧倒的に多いのがわかります。この中には、68億円の病院事業会計も含まれています。七飯町のように函館圏に属する町は大きな病院がありませんので、その分低くなっています。また、八雲町は面積も広いので、それに伴う道路延長、町費河川延長、橋梁数、町有林面積、学校数等も多く、この予算規模になっています。熊石町との合併で2町分の交付税になりましたが、合併後10年目から5年間に渡り段階的に交付税が減り、更に、人口減による交付税や町民税の減もあるので、今から支出を抑えられるものはなるべく抑えるよう努力しています（事務事業見直し）。一般会計の支出（歳出）では行き先の決まったものがほとんどで、その年自由に使える予算は約10%程度あるのですが、それも学校耐震化工事、車両購入、除雪費等に主に使われ、残りわずかなお金を将来のための貯金となっています。

# 今回の一般質問

## 1. 『新規就農の推進強化を』

### 質問

全国的に、農業者の高齢化が心配されています。八雲町においても農業者の高齢化とあわせて、農業人口が減ってきているので、高齢化対策・後継者育成と共に、新規就農者の受け入れにも力を入れるべきではないでしょうか？

そのためにも、コントラクターやTMRセンターの導入と充実、更にはコーディネートが必要だと思いますが、町としてはどのようにお考えですか？

### 町長

平成12年度に比べ、23年度の農業戸数は34戸減少しています。農業産出額の伸び悩みと共に、農業担い手の減少も問題になっています。対策の一つとして新規就農者の受け入れに取り組んでいるところです。

### 質問

農協が広域合併をしてから、酪農業にとっては遠い存在になったという声を聞いたことがあるので、八雲町役場の農林課の方たちが、もっと身近な立場でいてほしいと思います。八雲町に魅力を感じて移住してくる方も実際にいるので、是非、役場として新規就農者と既存農家との間を臨機応変に取り持って、現役の方が少しでも長く農業を続けてもらう工夫をし、「酪農の町・八雲」を守ってほしいと思いますが、いかがですか？

### 町長

なんといっても町が窓口なので、JAとか普及センターとか、色々な関係機関と連携を図りながら、積極的に進めて行きたいと思います。

## 2. 『八雲高校を町ぐるみで支援できる体制作りを』

### 質問

八雲高校では24年度の入学希望者が定員を大きく下回り、1クラス減の予定だと聞きました。高校側にも、地域に根ざした魅力ある学級作りに、より一層努力してもらうことは必要ですが、八雲町として1クラス減になることを、どのように受け止めていますか？

### 教育長

教育委員会としても、非常に残念に思っています。これまでも、八雲高校に対し札幌での販売実習や産業フェスティバルへの参加などに町有バスを提供し支援を行ってきたり、年間3回、八雲中学校・高等学校連絡協議会を開催し、

連携を図るように、支援をしてきています。今後も八雲高校に対し、地域に根ざした魅力ある学校作りを期待すると共に、教育委員会としても、出来る限りの支援をしていきたいと考えています。

### 質 問

町有バスでの支援は、PTA とかスポーツ少年団、各種団体でも年2回は借りることが出来るので、高校に対しては、もっと工夫した支援が必要ではないかと思えます。他の地域では、小中学校と共に給食を提供していたり、小学生の放課後の学習サポートを高校生が行なっていて、お互いに良い成果が生まれていたり、通学費の補助をしているところもあります。このように考えると、八雲町としても色々な支援が工夫できると思えます。また、地域によっては、下宿代や通学費で、親の経済的体力がなくなり、大学に進学できないという話もあります。八雲地域においても、保護者の経済負担の見通しをきちんと調べて、早急に検討する必要があると思えます。後手後手にならないよう町としての対応が必要だと思えますが、いかがでしょうか？

### 町 長

保護者にとって1番の魅力は、八雲高校から大学に行けるという事だと思えます。大学の推薦枠をお願いしたいと現在も交渉を進めていますが、町としても、高校とよく連携を図りながら、出来る限りのことはさせていただきたいと思っています。



## 事務事業見直してな~に？

八雲町による、町民説明会も行なわれましたが、町の収入が減っていく中で、今後も元気な八雲町を保つため、今から節約できることはどんどん節約しようということです。

＜一部を紹介＞（効果額は予定です）

- ☆ 公民館,図書館,八雲町民センター管理の見直し⇒効果額6 1 1万7千円
- ☆ 温水プール,梅村庭園,熊石歴史記念館管理の見直し⇒効果額2 6 6万6千円
- ☆ 八雲地域公園管理費用の圧縮⇒効果額1 7 8万5千円
- ☆ 広報やくも発行を、印刷単価等調査し、予定価格を設定して減額⇒8 7万9千円

というように、冬季閉館、午前閉館、無人管理など、いろいろ切り詰めて支出を抑える努力をしていますが、**どんな町を目指していくのか**を、町民と共にしっかりと見据えていなければ、これらの節約が生かされないと思っています。

## 町民意見交換会が行なわれました！

「開かれた議会」と「わかりやすい議会」を目指し、議会の活性化を図るために、12月16日に、**議会改革調査特別委員会**を設置しました。そこで、来年度の選挙に向けて、選挙区をどうするか、議員定数をどうするか、議員報酬をどうするかを話し合い、熊石地域（3月26日）と八雲地域（3月28日）で、町民意見交換会を開催しました。

議会としては、選挙区は設置しない。議員定数は現在の20名を16名に減らす。議員報酬は現状の報酬額（195,000円）を維持という方向ですが（現在は自主削減をしているので、175,500円です）参加してくださった町民の皆さまから、様々なご意見をいただきました。

議会改革調査特別委員会の話し合いのとき、私は、選挙区は無くし、全員で全ての地域をしっかりと把握し、定期的に報告会を行なう。定数は16名。報酬については、外国のように、夜仕事を終えてから議会を開催する方法を取り入れ、無報酬で行なう。「報酬を上げて、生活できるように…」という意見もありましたが、選挙に出るためには、自営業以外のほとんどの方は仕事をやめなければなりませんし、当選しなければ無職になってしまいます。本当に出したい人を議会に送るためには、仕事をしていても出来るように、夜、ボランティアで行なうのが一番良いと思うのですが、まだまだそこまで一挙に変えることは難しいので、日中議会を行なうのであれば、日当制で！という意見を出しました。（もちろん、少数意見なので取り入れられませんでした！）

これから、町民意見交換会の意見を基に、議会改革調査特別委員会で更に検討しますが、皆さんにとって、わかりやすい議会であると共に、必要な議会になっていきたいと思います。今は残念なことに、「議会の内容はわからないし、議会って自分たちにはあまり関係ない。」「議会って本当に必要なの？」という意見も時々聞かれます。

これからは、町民報告会や意見交換会などを積極的に行い、「今はこんな問題があるんだ！」「こういうことはどうなっているのだろう？」というように、まちづくりについて、一緒に考え、話し合える仕組み作りが必要だと思っています。（いつでも遠慮なく、ご意見をお聞かせください！）

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090（赤井）

赤井自宅 栄町56-12 63-2090